

農村計画委員会「小委員会委員」公募

農村計画委員会では、下記の小委員会委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従い
ふるってご応募ください。

■募集要領

下記(1)(2)を任意のA4判(ファイル名は名字のローマ字綴りとする)に明記のうえ、E-mailにてご提出
ください。なお、E-mailの件名は「〇〇〇小委員会委員応募」としてください。

(1) 希望の小委員会名

(2) 応募者について

- ① 会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mailアドレス、専門分野
- ② 現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無(有の場合は委員会名を記すこと)
- ③ 希望委員会で果たせる役割
- ④ 希望委員会に関連する業績

委員任期 承認日～2020年3月
設置期間 2018年4月～2022年3月
締切 2018年4月13日(金) 必着
採否 委員会で決定のうえ本人に通知します。
提出先 日本建築学会事務局事業グループ 伏見 E-mail : fushimi@aj.or.jp

●ルーラルデザイン小委員会

主査／幹事 : 主査 大沼正寛(東北工業大学)
幹事 平田隆行(和歌山大学)・三笠友洋(西日本工業大学)

募集人数 : 2名

活動目的 : 農山漁村地域を主なフィールドとした建築設計や環境・地域デザインを「ルーラルデザイン」と定義し、その「地／図／時」に着目しながら、事例考察や将来像の討議、新たな建築環境デザイン論の導出・提示を行う。

●集落居住小委員会

主査／幹事 : 主査 佐久間康富(和歌山大学)
幹事 柴田 祐(熊本県立大学)

募集人数 : 1名

活動目的 : これまでと同様のテーマ「むらを住み継ぐカタチ」をもとに、住み継ぐ手法に着目した活動を行う。全国事例を収集し、その意義や手法を明らかにすることで、集落を維持・継承していく計画論の構築を目的とする。

●集落の包括再編モデル小委員会

主査／幹事 : 主査 佐藤栄治(宇都宮大学)
幹事 北澤大佑(地域環境資源センター)・山田あすか(東京電機大学)

募集人数 : 5名

活動目的 : 集落での生活を起点に、複数の集落をまたいだ教育、医療、福祉、ソーシャルハウジング、公共施設等の機能集約による地域マネジメントも含めた、総合的な居住福祉のための包括的システム・再編モデルを検討する。

●集落復興小委員会

主査／幹事 : 主査 鈴木孝男(事業創造大学院大学)
幹事 菊池義浩(兵庫県立大学)・友渕貴之(和歌山大学)

募集人数 : 5名

活動目的 : 大規模震災の被災集落・地域の復興に関する社会的なニーズに着目して、農村計画研究の立場から集落・地域が持続していくための復興計画論を、地元を含む多様な関係者と連携して導き出していく。

●農村地域構造分析・計画論小委員会

主査／幹事 : 主査 坂本淳二 (摂南大学)
幹事 杉田昌也 (MSC パートナース)

募集人数 : 5名

活動目的 : 農業集落・市町村単位の各種国土情報の地理空間分析により、農村地域の過去・現在・将来の構造特性と、特性に応じた計画制度と各地域における活動を重ね合わせ、農村地域構造改革の一環となる計画論を導き出す。

●農村地域づくり小委員会 ※3月5日に追加しました。

主査／幹事 : 主査 上村真仁 (筑紫女学園大学)
幹事 鈴木孝男 (事業創造大学院大学)・川崎興太 (福島大学)

募集人数 : 9名

活動目的 : 農山漁村における地域づくりの実践の中で、いかなる主体が存在し、計画の実現に寄与したか、その役割と地域づくりの仕組みを明らかにし、地域づくりの将来に寄与する主体形成論を導出することを目的とする。